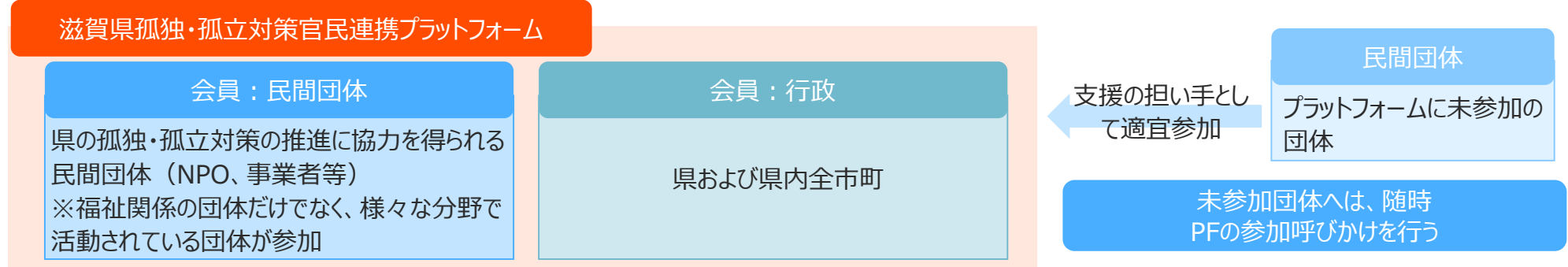


人口	約140万人
市町村数	19
面積 (km ²)	約4,017

滋賀県 実証事業の概要 ①連携プラットフォーム (PF) の概要

目指す姿 「未然防止」、「早期介入」、「つながりの拡充」を通して、「だれ一人取り残さない滋賀」の実現を目指す。
 ▶住民それぞれが自分なりの心地よい生活リズムやそれぞれの価値観を大切に「幸せ」の形を追求する姿を、互いに尊重し、応援し合える社会の実現



<p>機能① 未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトを通して、PF会員である支援団体が実施する活動やイベント等を県民に周知し、県民の日頃からの地域参加を促進 	<p>機能② 早期介入</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の孤独・孤立実態調査結果を県民や支援者へ共有し、孤独・孤立への理解を促進 ポータルサイトにて各種相談窓口を周知 	<p>機能③ つながりの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト上での情報発信・情報交換によるPF会員間のネットワークの構築 フォーラム開催等による団体同士の連携構築
--	---	---

滋賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム参加団体	NPO等	高齢者支援 9団体	障害者支援 6団体	地域づくり・居場所づくり 13団体
		子ども・若者、子育て支援 20団体	その他支援 27団体	
社会福祉協議会：全20団体（現在最終調整中）			市町 全19団体	

<p>PF形成の工夫① 多分野の団体へのプラットフォーム参画の声かけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 県や市町の各課が把握・関係する団体（孤独・孤立対策に資する様々な分野・活動形態）あてにアンケート回答と併せてPF参画意向を確認。 NPOについては、庁内所管課より提供のあった団体情報をもとに、全NPOにPF参画の声かけを行った。 	<p>PF形成の工夫② 支援団体のネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> PF機能「つながりの拡充」を進めるために、PF設置を周知することを目的として開催するフォーラムと併せて、PF参画団体（支援団体、社会福祉協議会、市町、県）やその他団体等の対面での交流会を開催。 会場の配席はグループ形式とし、日頃から活動等を行う地域別に参加者をグループ分け。 	<p>PF形成の工夫③ 効率的な情報発信コンテンツの取得 ※2023/3/7時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫①と同じアンケートにおいて、しが孤独・孤立支援ポータルサイトへの掲載を目的として、各団体の取組概要（活動エリア、活動内容、対象者等）を把握。 PFの情報発信を担うしが孤独・孤立支援ポータルサイトのコンテンツを限られた時間内に効率的に収集。
---	--	--

滋賀県 実証事業の概要 ②孤独・孤立対策の概要

2022年度に実施した孤独・孤立対策

目的 PFや孤独・孤立対策における地域の役割の周知、支援団体の交流促進

～つながることがチカラになる～つながること
で見えるちよつと素敵未来を描くフォーラム



開催日時	2023年2月8日（水） 14時00分～16時30分
場所	滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海大会議室
議題	<ul style="list-style-type: none"> 開催あいさつ 基調講演「孤独・孤立対策のために地域で求められている取組について」（内閣官房孤独・孤立対策担当室 山本麻里室長） パネルディスカッション「官民連携による「助けて」の声をあげやすい地域づくりについて」 コーディネーター：大杉副知事 パネリスト：山本麻里室長、谷口郁美氏、佐子友彦氏、田中孝史氏 交流会（8人1組のグループテーブルごとに情報交換・意見交換） 全体共有（グループでの共有内容を全体共有）
効果	・「満足・やや満足」が80%

目的 PF活動の発信

しが孤独・孤立支援ポータルサイト作成

- ・ 県HPに孤独・孤立専用ポータルサイトを増設
- ・ 連携プラットフォームの情報発信機能等の中核を担うサイト



目的 県内の孤独・孤立の現状に関する実態把握、必要な支援の検討材料

滋賀県民向け孤独・孤立実態調査

時期	2022/12
対象者	インターネット調査会社へ登録をしている滋賀県内に在住のパネラー3,600人
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット調査WEB形式 ・ 内閣官房令和3年度「人々のつながりに関する基礎調査」に準じながら、滋賀県独自の設問を加えて実施。 →詳細はコチラ (https://kenkou-shiga.jp/kodoku_koritsu/)

目的 支援団体の活動、支援団体のPF参加意向の把握

支援団体向け実態調査

時期	2022/12
対象者	滋賀県内にて活動する支援団体
概要	WEBアンケート形式、孤独・孤立状態の人への支援内容等を把握する設問 →詳細はコチラ (https://kenkou-shiga.jp/kodoku_koritsu/)

2023年度以降の活動計画

①フォーラムの開催（未然防止、早期介入、つながりの拡充）

- ・ 孤独・孤立やその対策の理解促進、県内の支援資源の周知、支援団体間、行政間、支援団体と行政間ネットワーク構築を目的とした県民・支援者向けフォーラムの開催

②SNSを活用した周知・啓発事業

- ・ 今年度作成した「しが孤独・孤立支援ポータルサイト」等の周知を行うために、SNS広告を用いた情報発信を行う。

滋賀県 実証事業の概要 ③ 試行的事業の概要

試行的事業の名称	事業内容	期待される効果	実施時期	発注先	費用（税込）
滋賀県民向け 孤独・孤立実態調査	インターネットアンケートによる県内在住者3,600人（外国籍含む）に対する調査	<ul style="list-style-type: none"> 圏域別の孤独・孤立の実態把握 必要な支援の検討材料 	2022/12	GMOリサーチ	2,510千円
市町・支援団体向け 実態調査	全市町、県内支援団体に対するWEBを活用したアンケート	<ul style="list-style-type: none"> 支援団体・市町の活動、支援団体の連携プラットフォーム参加意向の把握 	2022/12		
しが孤独・孤立支援 ポータルサイト作成	県ホームページに孤独・孤立専用ポータルサイトを増設	<ul style="list-style-type: none"> 孤独・孤立対策や連携プラットフォーム活動の発信 	2022/12～ 2023/2	ヤマブラ	484千円
フォーラム開催	基調講演、パネルディスカッション、交流会	<ul style="list-style-type: none"> 連携プラットフォームや孤独・孤立対策における地域の役割の周知、支援団体の交流促進 	2023/2/8	ラグスタ ピアザ淡海滋賀県立 県民交流センター	1,543千円 ※発注先への支払いのほか、登壇者の謝金・交通費、消耗品費を含む